

【第5次沖縄県観光振興基本計画策定時に目標値設定の考え方】

◆平成24年度 第5次沖縄県観光振興基本計画

- 知事の公約である観光収入1兆円、観光客1,000万人を目標値とした。
- 目標の達成は、那覇空港第2滑走路1の早期供用開始を前提（計画終期は令和3年、那覇空港第2滑走路供用開始は令和2年度）
- 「メッセージ性」を重視した。

	平成22年度実績（2010年度）	令和3年度目標（2021年度）
観光収入	4, 0 2 5 億円	1 兆円
1人当たりの県内消費額	7 0, 5 5 3 円	1 0 0, 0 0 0 円
平均滞在日数	3. 7 4 日	4. 7 8 日
入域観光客数	5 7 0 万人	1, 0 0 0 万人
うち外国人	2 8 万人	2 0 0 万人

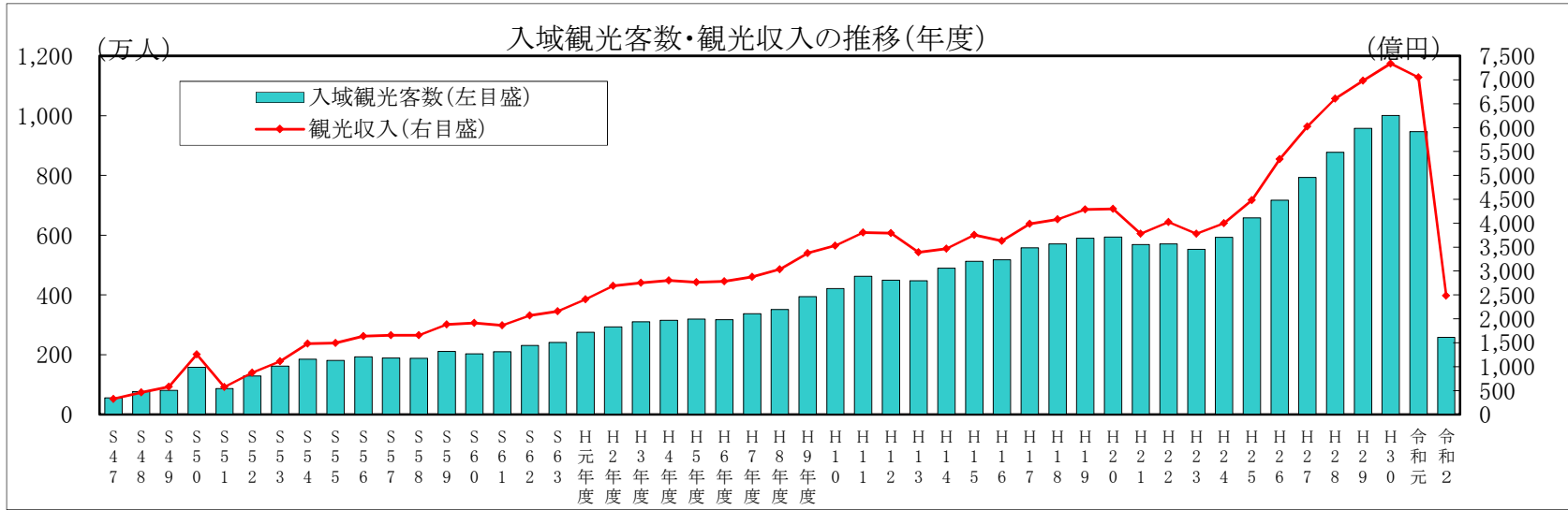
◆平成29年度 第5次沖縄県観光振興基本計画改定

- クルーズの増加に伴い外国海路客を追加し、各フレームを修正した。

	2016年度実績	2021年度 目標
観光収入	6, 6 0 3 億円	1, 1 兆円
1人当たりの県内消費額	7 5, 2 9 7 円	9 3, 0 0 0 円
平均滞在日数	3. 7 1 日	4. 5 日
入域観光客数	8 7 7 万人	1, 2 0 0 万人
うち外国人	2 1 3 万人	4 0 0 万人
うち海路外国人	7 0 万人	2 0 0 万人

第6次観光振興基本計画シナリオ - RECOVER & REDEFINE

【現状】



- これまで沖縄観光は、入域観光客数が順調に増加し、それに伴い観光収入も着実に増加してきたことで平成30年度には入域観光客数が1,000万人を超え、観光収入も7,000億円を突破した。
- そうした中、主に令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光客数は半数以下に激減し、観光産業、ひいては沖縄経済全体に甚大な影響が生じている状況である。(令和3年上半期136万人、昨年度より39万人増)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
観光収入	7,340億円	7,047億円	2,485億円	→ △4,855億円
1人当たりの県内消費額	73,374円	74,425円	94,557円	
平均滞在日数	3.59日	3.7日	4.17日	
入域観光客数	1,000万人	947万人	258万人	→ △742万人
うち外国人	300万人	249万人	0人	

第6次観光振興基本計画シナリオ - RECOVER & REDEFINE

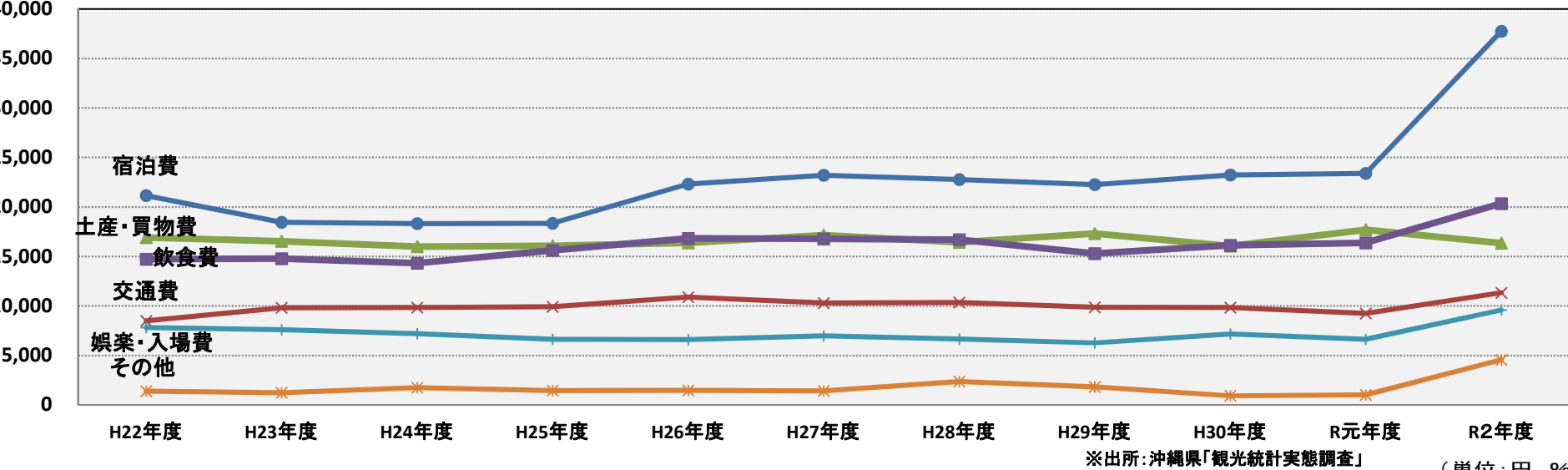
◆国内客・外国人空路客・外国人海路客別の1人当たり消費額等の推移

	単位	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
観光収入	百万円	402,526	378,264	399,674	447,868	534,172	602,214	660,294	697,924	734,056	704,745	248,500
一人当たり観光消費単価	円	70,553	68,427	67,459	68,062	74,502	75,881	75,297	72,853	73,374	74,425	99,956
国内客	円	71,435	69,171	68,008	67,323	72,613	74,083	74,763	72,284	76,759	76,987	99,956
外国空路客	円	82,711	78,533	83,336	96,548	106,051	107,302	98,097	100,265	90,119	102,528	—
外国海路客	円	20,065	20,169	20,001	26,238	25,240	25,973	33,656	29,861	28,343	19,886	—
人泊数(E=E1+E2)	人泊	15,615,762	15,501,203	16,211,745	18,568,288	20,335,908	22,588,215	23,767,740	25,679,560	25,896,625	25,522,855	8,185,735
国内客(E1=A1*[D1-1])	人泊	15,074,550	14,791,278	15,241,050	16,847,273	17,562,276	18,108,740	18,459,478	18,966,535	19,088,877	19,321,281	8,185,735
外国空路客(E2=A2*[D2-1])	人泊	541,212	709,925	970,695	1,721,015	2,773,632	4,479,475	5,308,268	6,713,025	6,807,748	6,201,574	—
外国海路客(E3=0)	人泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
平均滞在日数 (D=[(A1*D1)+(A2*D2)+(A3*D3)]/A)	日	3.74	3.80	3.74	3.82	3.84	3.85	3.71	3.68	3.59	3.70	4.17
国内客(D1)	日	3.78	3.83	3.75	3.83	3.84	3.89	3.78	3.75	3.73	3.77	4.17
外国空路客(D2)	日	4.57	4.89	5.07	4.95	4.72	4.85	4.71	4.95	4.77	5.35	—
外国海路客(D3=1)	日	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	—
入域観光客数総数 (A=A1+A2+A3)	人	5,705,300	5,528,000	5,924,700	6,580,300	7,169,900	7,936,300	8,769,200	9,579,900	10,004,300	9,469,200	2,583,600
国内客(A1)	人	5,422,500	5,226,600	5,542,200	5,953,100	6,183,900	6,266,000	6,640,100	6,887,900	7,003,500	6,978,800	2,583,600
外国空路客(A2)	人	151,600	182,500	238,500	435,700	745,600	1,163,500	1,430,800	1,699,500	1,803,700	1,427,200	0
外国海路客(A3)	人	131,200	118,900	144,000	191,500	240,400	506,800	698,300	992,500	1,197,100	1,063,200	0
外国人合算(A4=A2+A3)	人	282,800	301,400	382,500	627,200	986,000	1,670,300	2,129,100	2,692,000	3,000,800	2,490,400	0

- ◆観光収入7,000億
- ◆一人当たりの観光消費単価 7万円台→約10万
- ◆人泊数2,500万人泊
- ◆平均滞在日数 3.7→4.17
- ◆入域観光客数 1,000万人

第6次観光振興基本計画シナリオ - RECOVER & REDEFINE

◆観光客1人当たり消費額の推移

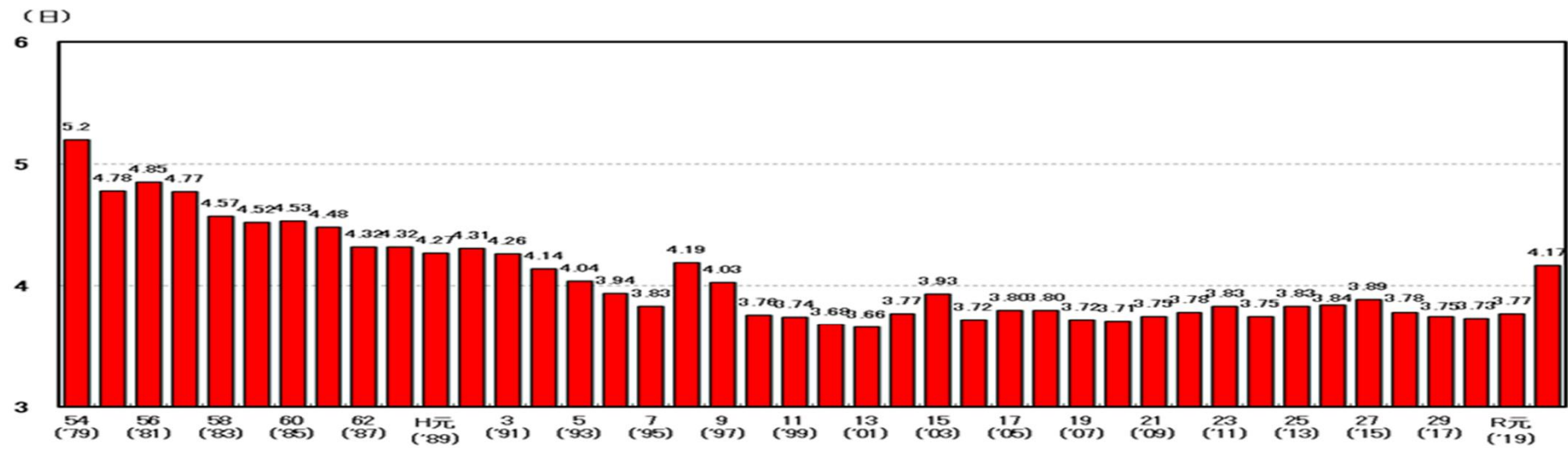


年度	項目	総額	宿泊費		交通費		土産・買物費		飲食費		娯楽・入場費		その他	
			金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
H22年度		70,553	21,164	30.0	8,500	12.0	16,920	24.0	14,739	20.9	7,836	11.1	1,395	2.0
H23年度		68,427	18,444	27.0	9,816	14.3	16,526	24.2	14,791	21.6	7,602	11.1	1,247	1.8
H24年度		67,459	18,310	27.1	9,847	14.6	16,002	23.7	14,336	21.3	7,206	10.7	1,757	2.6
H25年度		68,062	18,347	27.0	9,922	14.6	16,079	23.6	15,626	23.0	6,647	9.8	1,441	2.1
H26年度		74,502	22,317	30.0	10,897	14.6	16,378	22.0	16,830	22.6	6,604	8.9	1,476	2.0
H27年度		75,881	23,217	30.6	10,298	13.6	17,149	22.6	16,791	22.1	6,986	9.2	1,440	1.9
H28年度		75,297	22,766	30.2	10,350	13.7	16,436	21.8	16,711	22.2	6,667	8.9	2,367	3.1
H29年度		72,853	22,269	30.6	9,861	13.5	17,320	23.8	15,304	21.0	6,271	8.6	1,827	2.5
H30年度		73,374	23,241	31.7	9,841	13.4	16,056	21.9	16,129	22.0	7,178	9.8	929	1.3
R元年度		74,425	23,398	31.4	9,265	12.4	17,702	23.8	16,387	22.0	6,647	8.9	1,026	1.4
R2年度		99,956	37,748	37.8	11,343	11.3	16,360	16.4	20,349	20.4	9,596	9.6	4,561	4.6
平均		74,617	22,838		9,995		16,630		16,181		7,204		1,770	

- ◆交通費→周遊券
- ◆土産・買物費→高付加価値化
- ◆飲食費→高単価
- ◆娯楽・入場費→新たなテーマパーク

第6次観光振興基本計画シナリオ - RECOVER & REDEFINE

◆平均滞在日数の推移



平均滞在日数内訳

※出所: 沖縄県「観光統計実態調査」
 ※H15年度、H18年度は航空機内で行った大規模調査による数値

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
日帰り(1日)	0.4%	0.7%	0.5%	0.7%	0.6%	0.7%	1.1%	1.4%	1.1%	1.4%	1.9%
1泊2日(2日)	9.1%	12.2%	13.9%	13.7%	14.5%	12.0%	15.3%	15.7%	15.2%	15.3%	8.9%
2泊3日(3日)	39.1%	37.1%	38.4%	37.6%	36.7%	38.8%	36.1%	37.3%	36.6%	37.0%	32.8%
3泊4日(4日)	31.9%	29.7%	28.3%	27.6%	27.3%	29.0%	29.2%	27.3%	28.8%	26.7%	30.9%
4泊5日(5日)	13.0%	12.2%	11.1%	12.0%	11.7%	11.0%	10.5%	9.8%	10.8%	11.0%	12.6%
5泊6日(6日)	3.0%	3.2%	3.5%	3.9%	3.7%	3.8%	3.1%	3.5%	3.3%	3.3%	4.8%
6泊7日(7日)	1.3%	1.5%	1.4%	1.4%	2.2%	1.5%	1.5%	1.5%	1.6%	2.1%	3.5%
7泊以上(8日以上)	2.2%	3.4%	2.9%	3.2%	3.3%	3.2%	3.2%	3.4%	2.7%	3.2%	4.5%

※出所: 沖縄県「観光統計実態調査」

第6次観光振興基本計画シナリオ - RECOVER & REDEFINE

◆ハワイとの比較(2017年比較暦年)

	ハワイ	沖縄
入域者数	9,404,346人	9,396,200人
観光収入	1.88兆円	6,948億円
1人当たり消費額	20万円	73,945円
1人1日当たり消費額	23,000円	20,259円
滞在日数	8.94日	3.68日



◆ホテルの容量 160,213人×365日=5,847万人泊

	施設	客室	収容人数
ホテル・旅館、民宿、ユースホテル等	3,342件	57,759室	160,213人

◆各地域が受忍できる一定の量を求めながら、滞在日数と1人1日当たりの消費額向上に努める

- ・保養・休養といえは「沖縄」というブランディング、ターゲットマーケティングを行う
- ・宿泊費の平準化(閑散期と繁忙期の差をなくす取組)
- ・娯楽・入場費の増(2025年開業予定のテーマパーク)
- ・飲食費の増&満足度向上(日本遺産に登録された琉球料理、泡盛の高付加価値化)

第6次観光振興基本計画シナリオ - RECOVER & REDEFINE

◆目標値(案)

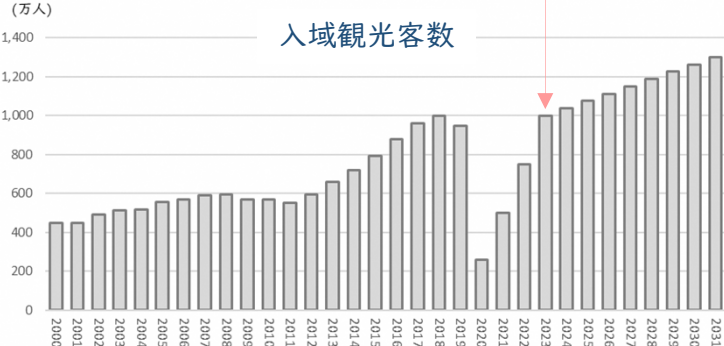
		単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	第5次目標値		R13年度	R13年度	R13年度
観光収入		百万円	660,294	697,924	734,056	704,745	248,500	1,109,996		1.2兆円～1.4兆円		
一人当たり観光消費単価		円	75,297	72,853	73,374	74,425	99,956	92,500		9万2千～11万8千円		
	国内客	円	74,763	72,284	76,759	76,987	99,956	95,000		100,000	110,000	125,000
	外国空路客	円	98,097	100,265	90,119	102,528	—	147,000		130,000	147,000	150,000
	外国海路客	円	33,656	29,861	28,343	19,886	—	28,000		30,000	30,000	30,000
入泊数(E=E1+E2)		人泊	23,767,746	25,679,560	25,896,625	25,522,855	8,185,735	42,000,000		44,520,000	42,187,600	40,068,000
	国内客(E1=A1*[D1-1])	人泊	18,459,478	18,966,535	19,088,877	19,321,281	8,185,735	32,000,000		31,520,000	29,707,600	28,368,000
	外国空路客(E2=A2*[D2-1])	人泊	5,308,268	6,713,025	6,807,748	6,201,574	—	10,000,000		13,000,000	12,480,000	11,700,000
	外国海路客(E3=0)	人泊	0	0	0	0	—	0		0	0	0
平均滞在日数 (D=[(A1*D1)+(A2*D2)+(A3*D3)]/A)		日	3.71	3.68	3.59	3.70	4.17	4.50		4.42	4.79	4.34
	国内客(D1)	日	3.78	3.75	3.73	3.77	4.17	5.00		5.00	4.77	4.60
	外国空路客(D2)	日	4.71	4.95	4.77	5.35	—	6.00		6.00	5.80	5.50
	外国海路客(D3=1)	日	1.00	1.00	1.00	1.00	—	1.00		1.00	1.00	1.00
入域観光客数総数 (A=A1+A2+A3)		人	8,769,200	9,579,900	10,004,300	9,469,200	2,583,600	12,000,000		13,000,000	12,500,000	12,000,000
	国内客(A1)	人	6,640,100	6,887,900	7,003,500	6,978,800	2,583,600	8,000,000		7,880,000	7,880,000	7,880,000
	外国空路客(A2)	人	1,430,800	1,699,500	1,803,700	1,427,200	0	2,000,000		2,600,000	2,600,000	2,600,000
	外国海路客(A3)	人	698,300	992,500	1,197,100	1,063,200	0	2,000,000		2,520,000	2,020,000	1,520,000
	外国人合算(A4=A2+A3)	人	2,129,100	2,692,000	3,000,800	2,490,400	0	4,000,000		5,120,000	4,620,000	4,120,000

第6次観光振興基本計画シナリオ - RECOVER & REDEFINE

【報告事項】 人泊数をベースに消費単価と組み合わせた観光収入案を議論していく

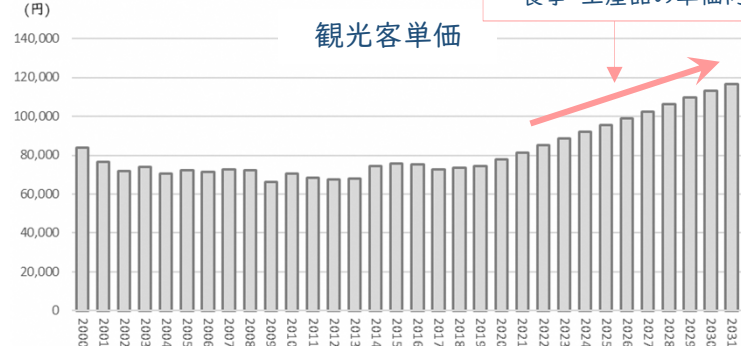
- 観光の回復なくして、県経済の回復なしの考え方からまずは、v時回復&構造改革(質への転換)
- コロナ禍の中、先行きが不透明(特に海外の空路、海路)な為、5年後に目標値を再設定する

観光客数の早期回復



コロナ前回復

観光客単価の底上げ



①
V字回復
-recover-

- 県経済を支える主力産業として、観光客の積極的な誘客と事業者支援により、早期の回復を図る。
- 国内外客の各回復時期を確実に捉えて、2023年度における入域数1000万人の回復を目指す。



②
構造改革
-redefine-

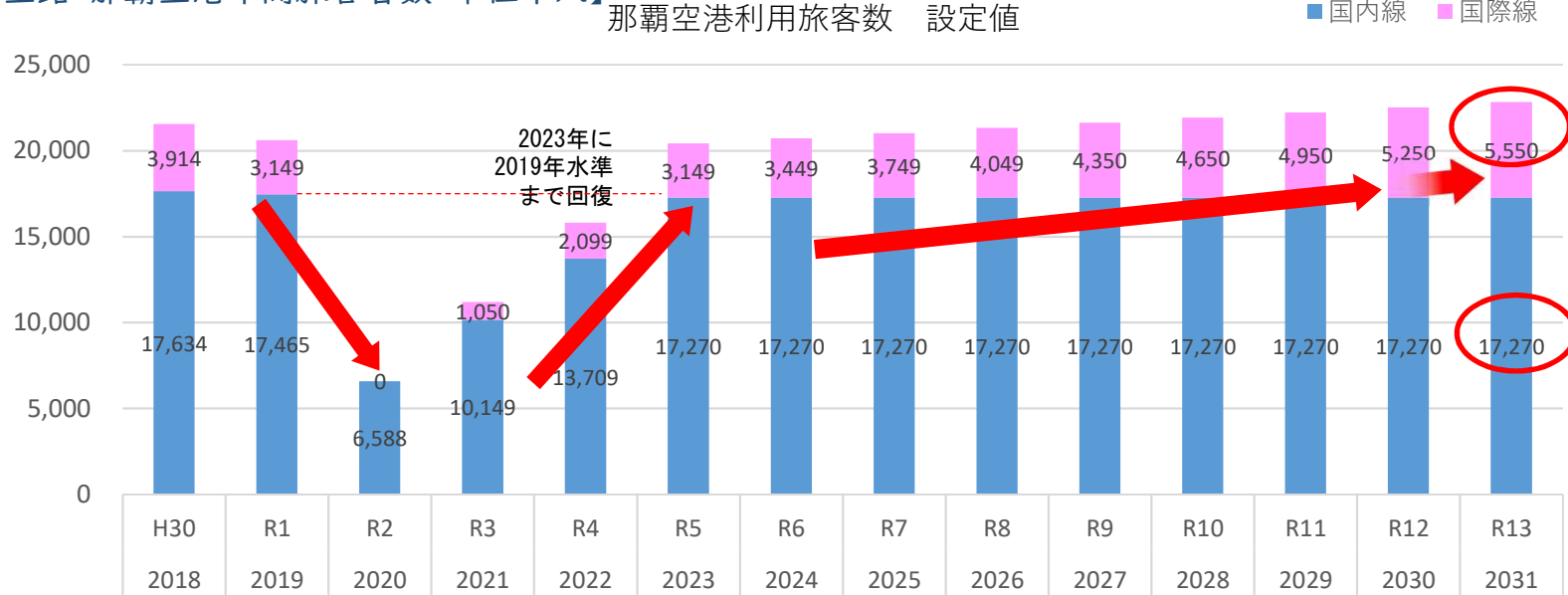
- ICT活用・DX推進により、平準化や市場の最適選択を行う。
- 満足度の低い食事や土産品の単価向上を図る。
- 地域ごとに一定期間内に受入可能な人数を設定し、範囲内の受入を図る。

第6次観光振興基本計画シナリオ - RECOVER & REDEFINE

◆第6次観光振興基本計画における入域観光客数の考え方

- 那覇空港については、交通政策課の需要予測値をベースに試算

【空路：那覇空港年間旅客者数 単位千人】



- 那覇空港旅客者数は、国が算出し、公表している那覇空港滑走路増設事業再評価資料（平成29年7月）を基に令和12年（2030年）の計画値を2,252万人（発着分）に設定。
- 国際航空運送協会（IATA）が示した世界の旅客者数回復見通しを参考に、令和5年度にはコロナ以前に回復するものと設定。（観光の国内外誘客前提）

【令和13年度：那覇空港の国内外入域観光客数】

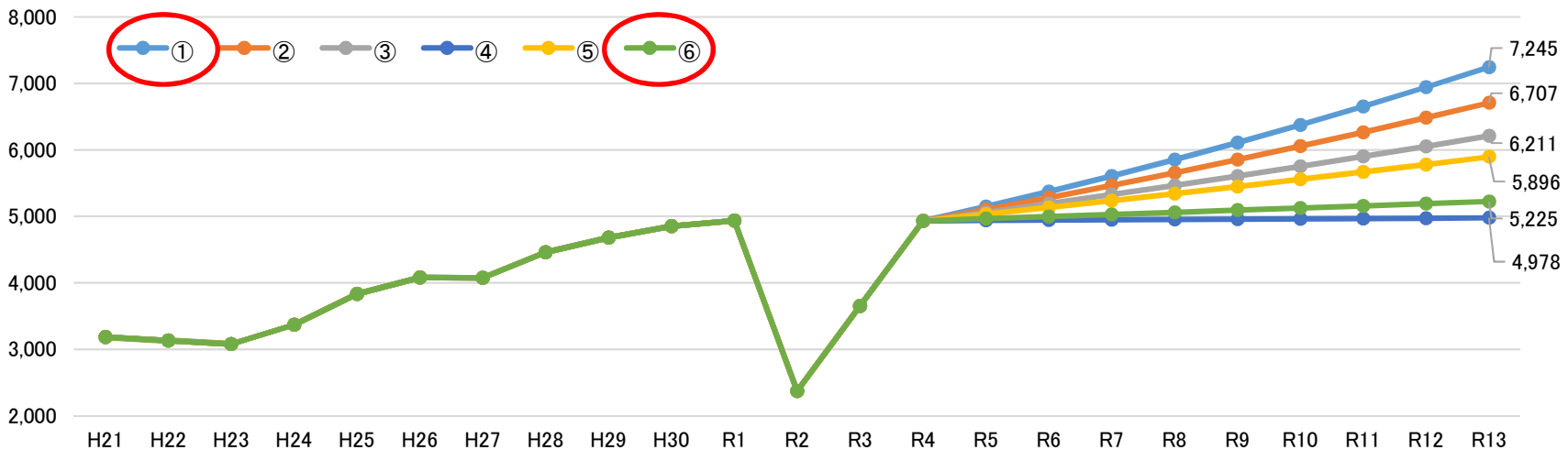
◆国内客17,270,000人の内、入域観光客数は到着分なので1/2で8,635,000人、その内県外路線利用者数は割合を乗じて7,250,384人、混在率を乗じて6,144,265人と算定。

◆国外客5,550,000人の内、入域観光客数は到着分なので1/2で2,775,000人、その内県民等の利用者272,962人を引いて2,502,038人と算定

第6次観光振興基本計画シナリオ - RECOVER & REDEFINE

- 離島空港については、空港課の需要予測値をベースに試算

【空路：離島空港年間旅客者数 単位千人】



- 国際航空運送協会 (IATA) が示した世界の旅客者数回復見通しを参考に、令和5年度にはコロナ以前に回復するものと設定。(観光の国内外誘客前提)
- ①~⑥過年度実績等から伸び率を算出し、令和13年度時点での旅客者数を推計した。
- ①平成22年から令和元年度(直近10年間)伸び率平均4.4%、②平成27年から令和元年度(直近5年間)伸び率平均3.5%、③平成29年から令和元年度(直近3年間)伸び率平均2.6%、④過去10年間における最小伸び率(H26→H27/R1) 0.1%、⑤OCVBによる沖縄の入域客数の将来見通し(国内客2.0%)、⑥那覇空港の需要予測(0.6%)※空港課は⑥を採用
- 【令和13年度：離島空港の国内外入域観光客数】
- 那覇空港同様に国内外客の入域観光客数を県外路線利用者数は割合、混在率を乗じて①と⑥のパターンで試算

第6次観光振興基本計画シナリオ - RECOVER & REDEFINE

【空路:離島空港年間旅客者数 ①と⑥の試算】

空港名	国内①	海外①	合計	国内⑥	海外⑥	合計
宮古島空港	3 2 9 千人		3 2 9 千人	2 3 7 千人		2 3 7 千人
下地島空港	2 0 1 千人	3 4 千人	2 3 5 千人	4 7 千人	8 千人	5 5 千人
新石垣空港	7 2 8 千人	6 3 千人	7 9 1 千人	5 2 5 千人	4 5 千人	5 7 0 千人
久米島空港	8 0 千人		8 0 千人	5 8 千人		5 8 千人
合計	1, 3 3 8 千人	9 7 千人	1, 4 3 5 千人	8 6 7 千人	5 3 千人	9 2 0 千人

【空路:那覇空港年間旅客者数+離島空港年間旅客者数】

◆パターン1:離島空港年間旅客者数①

パターン2:離島空港年間旅客者数⑥

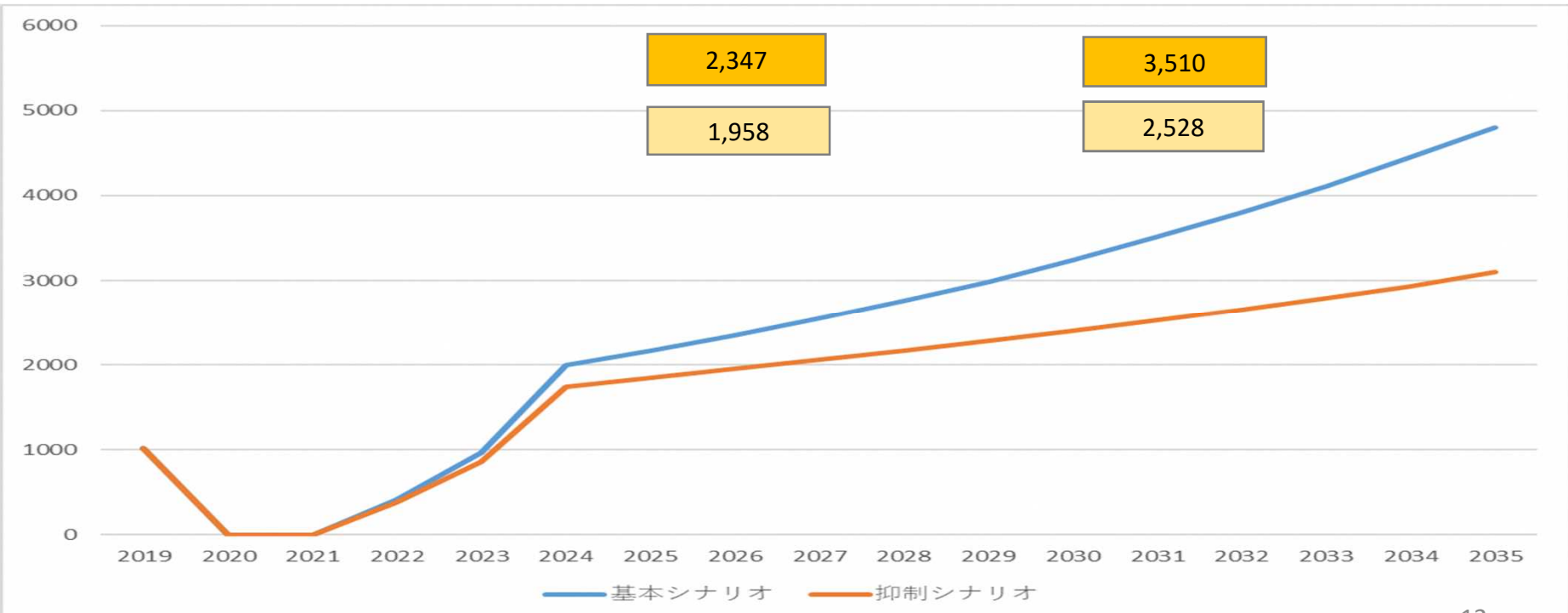
空港名	国内	海外	合計
那覇空港	6,144 千人	2,502 千人	8,646 千人
離島空港①	1,338 千人	97 千人	1,435 千人
合計	7,482 千人	2,599 千人	10,081 千人

空港名	国内	海外	合計
那覇空港	6,144 千人	2,502 千人	8,646 千人
離島空港⑥	867 千人	53 千人	920 千人
合計	7,011 千人	2,555 千人	9,566 千人

第6次観光振興基本計画シナリオ - RECOVER & REDEFINE

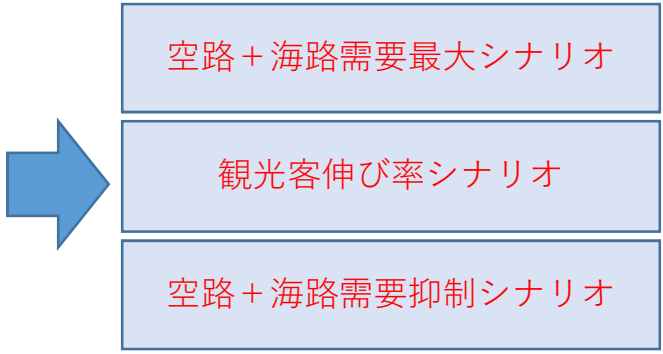
◆海路については、クルーズ船の将来需要推計の結果報告より港湾課が試算した各港に寄港したクルーズ人口を採用した

各港名	平成30年度	令和8年 基本値	令和8年 抑制値	令和13年 基本値	令和13年 抑制値
那覇港	84.6万				
平良港	15.0万				
石垣港	18.7万				
中城湾港	1.4万				
本部港	0				
合計	119.7万	234.7万	195.8万	351万	252.8万



第6次観光振興基本計画シナリオ - RECOVER & REDEFINE

①空路+海路需要MAX	空路①と海路基本シナリオ	13,500千人
②積極シナリオ	過去5年伸び率5%(H26-R1)	13,000千人
③空路+海路需要MIN	空路②と海路抑制シナリオ	12,000千人



入域観光客シナリオ

